古河電エパワーシステムズ

電気の「つづく」を作り、 電所と需要家をつなぐ

(第三種郵便物認可)

古河電エパワーシステムズ(FEPS、横浜市、大野和哉社長)は古河電気工 業の子会社で電力部品などを手掛ける。送電から配電までその事業分野は幅広く、 ゴム大型成型・振動抑制・接続×圧縮一貫製造・銅テルミット溶接・可とう導体 ・移動体給電・多層ゴム成型・ゴム混練&押出・着脱式通電の9つの自社技術で 送配電網をはじめとした電力を支えている。このうち、送電網を支える風雪害対 策製品は日本の厳しい冬にも耐え、信頼を築く。FEPSではこれらの製品を海 既に信頼を獲得しつつある。この記事では国内外で高い信頼性を誇 るFEPSの技術や製品について大野社長へのインタビューを交え、紹介する。

インタビュー

自社技術を組み さらなる成長を 合 せ、

はなく、

全てが会社の



か、体系化したものがになっている部分は何 れが優れているとかでこの9つ。この中でど の自社技術だ。 それぞれが会社の宝 「FEPSの屋台骨 その結果が9つ

大野和哉 社長

ていた。電柱減の流り力向けの案件が減少し まだ残っていた国内電 また、2012年には 環境が変わっていた。 で架空配電から地中配 「設立当初とは事業

パイは増えない」

10年後に売り上げ20 0億円で営業利益20億 益が6億円ほど。 約170億円で営業利 の規模からすると物足 「当時は売り上げが 会社

だ事業所それぞれの縦 それまでは る

間がいなかった。それついて全てを語れる人 術を洗い出した」 くってメインとなる技 う社長直轄の組織をつ はまずいということ 「 FEPSの 技術に 技術開発本部とい

縦割りから横のつながりへ

サを作っているの 日本ではルーズスペ ないかと考えた結果。技術を使って何かでき

方をするのかとか、 違うのでこういうやり この製品がこんなふう で共有し、学んでいる。 工事の方法も日本とは に使われているとか、

分野で海外展開ができ ていきたい」 海外での売り上げが比 事業はもちろん続けて 率的に上回るようにし もとの国内電力向けの いくが、新しい市場や

後の2020年に就任 設立から7年半 今につながる

電への切り替えはあっ たが、それでは全体の 掲げた。 を作った」 形を大きく変えた。 製品が必要になる数字 前身の会社を引き継い 円という目標を社内で ているが、 「送配電全部網羅し 設立当初からの 新規の市場や

て、結果ない、いまりで事業を行ってい

結果として、横の

全社一丸で新し 製品を開拓す

新市場や新製品につな 自社技術を突き詰めて 状況だった。そこで、つながりを欠いている いでいこうとしてい

で北米からの引き合いで北米からの引き合いで北米からの引き合いで、
で北米からの引き合いで、
でいる。これも9つのがある。これも9つの 展開にもつながった。 ―― 基本技術が海外 伸ばしていく海外・新市場向けを

9つの自社技術

り持っていない。まだだ。海外の企業はあま こういう形で海外展開最初のステップだが、 いるのは振動抑制技術の製品のもとになって 事の動画を借りて社内 も進んでいる」 「海外での事業は工

センター向けは海外で るコネクタも積極的に も需要がある」 展開している。 データ 「将来的には様々な

ことで、転用や組み合めった。技術で考えるとに考えている部分が宝だ。これまで製品ご を明るくする。』が制づく」をつくり、世界ループパーパス『「つに古河電工の方でグ ッセージを策定した。 ―― コーポレートメ り、もっとコミュニケ元の会社の名残があ る」をもっと速く、 ていこうと社内広報に っと広く』とした。自 定された。そこにつな も注力している」 十(プラス) がる社内メッセージと いうことで『FEPS ションを速く広く 「つなが い市場、 ಠ್ಠ 強になる」

発想が出てくる」

わせによるシナジー

えば、 決のような話は積極的 識やノウハウを持ってれない。顧客の方が知 れない。顧客の方が知い展開が浮かぶかもし 術で考えることで新り 向けの容易に着脱でき いる場合もあるだろう に聞いていきたい。 次世代への課題解 -タセンター

FEPS o

てショー 発研究を進めてきた。 用の が可能。国内各電力会 現象を発生させた実証 外でもギャロッピング ることにより、 の模擬着雪を取り付け 形県内に最上試験線を の旭電機時代から、 線を束ねた導体)」はギ な。 ながるリスクをはら いことで知られる。 「清川だし」と樹脂製 ここでは局地風の ロッピング発生が多 特に超高圧送電線 「多導体(複数電 対策技術の開 冬季以 を多く訪れている。

刀との共同で、

当たっては相応のカス いる。 度が一層高まってきて た国際大電力システ 一方で、 (CIGRE) 海外からの注目

該地域の地形や気象に る。送電線はギャロ タマイズも必要とな ピングだけでなく、 海外展開に 右が3導体用、左が2導体用 AEPが採用した「ルーズスペーサ」



権利を 保有します。許可を得て使用しています。

用することで、

送電線

ルーズスペー

に付いた雪が大型化す

製品は組み合わせて活

極めて重要」と話す。 ョンを提案することが 停電や設備被害への対 の大量付着に起因する

待を超えるソリューシ

顧客のニーズや期

心が課題だったが、

看雪リング」を納入。

等について、

周辺技術

ンタウエイト」 に F E P S 製 の

と「難

効果が期待されるのか

これまで現地では氷雪

も含めて丁寧に説明

ることを防ぎ、

落下を

向け販売開始以降順調

サは2020年の海外

促すことができる。 雪害対策品拡販に取り 結し、中央アジアでのイとは2社で覚書を締 商事パワー&モビリテ 進んでいるほか、 減効果の有効性確認が 状況を踏まえて着雪軽 現地の気象や送電線の ザフスタンでは現在、 住友 力

き詰め、安定した電力 勢だ。 供給に貢献していく姿 果を残した。今後もそ れぞれの国や地域に合 向けを大きく上回る結 海外向けが64%と国内 4年度の販売割合では に市場を広げ、202

EPSは2012年10月、旭電機・井上製作所・古河パワーコンポーネン ツの3社と、古河電工の配電事業が統合して設立された。翌年には古 河電工のエフコ製品部と電材部も合流。幅広く送配電を担う現在の体 それぞれのルーツは古く、井上製作所は1919年、大正時代に創業、 主に地中配電の部品を手掛けてきた。旭電機は架空送電、古河パワーコンポー ネンツは架空配電の部品で1960年代から事業を行ってきた。

1990年代半ば頃には国内電力会社の設備投資が一巡し、落ち着きを見せ始め 2000年代に入ると、送電線・配電線や産業用電線で事業再編が進み、部品 製造でも異なるルーツを持つ3社と1事業が一体となり、送配電部品を総合的

に手掛けるFEPSが生まれた。

き、電線同れる激しい

い振動が起

電線同士が接触し

停電につ

ギャロッピングと呼ば

に強風が吹きつけると

の受注を受け、 から「ルーズスペー メリカン・エレクトリ を積極的に模索してい 拓が進む。 ック・パワー 雪害対策品の

海外展開 北米大手電力会社ア FEPSでは現在、 水雪が付着した電線 (AEP) んできた。その結果、試験線で対策に取り組保有する実規模の送電 を対策品として開発。 有するルーズスペーサ 学的に抑制する機能を 多導体用送電線のギャ ロッピング振動を空力

> は国や地域によって大 や技術的重視ポイント

きく異なるのが実情

現象が生じる。

そのた

その対策の考え方

より様々な形態の振動

れると、 た。ルーズスペーサは電線を守り抜いてき 台を販売した。 ロッピングを抑え、 降雪地帯各地でギャ 998年に初採用さ -ズスペー 国内で約20万

の見学者が最上試験線 まれた代表的な製品と 同試験線を活用して生 して知られ、 海外から

関の一つであるイタリ 電線の振動現象につ アのミラノ工科大学に て世界最先端の研究機 そこでFEPSでは

新設プロジェクトにお

に至った。
いて、全面的にルーズ タンでは住友商事パワ このほか、カザフス &モビリティと協力

会社「ウランエネルゴ」 現地の送電線運用 「カウ れによってどのような 策品を提供するだけで の北嶋知樹技師長は FEPS第一事業部 より設置するのか。そ 海外においては、 どのような工法に それをどの位置

アプローチ。同大学が 電線振動をシミュレー 電線振動をシミュレー ション可能な最新プロ を積み重ねた。これに より海外導入に当たっ たカスタマイズはもと たカスタマイズはもと たカスタマイズはもと たカスタマイズはもと たかスタマイズはもと たかスタマイズはもと たかスタマイズはもと たかスタマイズはもと たかスタマイズはもと たかスタマイズはもと たか、顧客の期待を上 り組みが功を奏し、A といこのような取 り組みがながりを奏し、A

日本で培った実績を世界へ

雪害対策の海外展開

「カウンタウエイト」と「難着雪リング」 が取り付けられた電線

0000000 0000000 0000000 0000000 000000 0000000 0000000 0000000 0000000 Innovation for Next 当社は、送電から配電までの電力供給全域を網羅する「総合電力機材メーカー」です。日々の 「あたりまえ」の暮らしを支えるため、様々な社会課題に取り組み、解決してきました。これからも FEPS 持続可能な社会に貢献するために、私たちは、新たな価値創造に向けて『総合力』で挑みます。 古河電エパワーシステムズ **FEPS** ホームページは 公式キャラクター こちらから TEL: (045)910-2800 FAX: (045)910-2809 FEピース